

生産局長賞（団体の部）

地元食品小売業者と自治会との協働による農作物被害防止活動により、被害軽減と地域の活性化を実現

板荷5・6・7・8・9区自治会

（代表者：齊藤 秀男）

栃木県鹿沼市

主な取組

板荷5・6・7・8・9区自治会は、地元食品小売業者（スーパー）と共に、2年間の協働活動を行い、集落全体を囲う防護柵を設置。

その結果、農地へのイノシシの侵入が大幅に減少した。農作物被害による耕作意欲の低下で、ここ数年作付けされていなかった農地において、さといもなどの生産が再開。

また、獣害対策のために試験導入された農作物が、協働活動をきっかけに地元スーパーで販売されたことなどにより、生産者の意欲が一層高まり、地域の活性化につながっている。

これらの活動は、鳥獣被害の問題を抱える中山間地域における模範的なモデルとして期待される。